

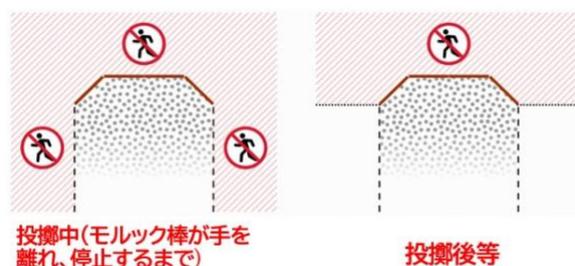
第3回 きみモル CUP (JMA 公認大会)

大会ルールと競技方法

■ 本大会におけるルールについて

- ・ 本大会では各コートに用意したモルック棒を使用してください(マイ棒は使用できません)。
- ・ チーム内の投げ順及び出場メンバーは、ゲーム毎に変更可能です。
ただし、出場メンバーを変更できるのは3人又は4人でエントリーのチームのみです。登録しているメンバーのうち、2人又は3人又は4人でゲームに出場することが可能です(必ずしも全員でゲームに参加しなくてもよい)。
- ・ ゲーム中やむをえない事由により参加プレイヤーがゲームを離脱しなければならない場合、対戦チームの合意があればゲームから抜けることができます(1人でのプレイは不可。ゲームを離脱する場合は棄権とみなし、そのゲームの得点は失います)。
- ・ 「投擲」の定義については 本大会においては、上投げによる投擲は禁止とする。
投擲とは、プレイヤーが投擲エリア内に立った後、モルック が手を離れ、地面に着地し止まるまでを指す。どの位置に着地しても投擲とみなす。
- ・ 試合コートについては、本大会においては、幅 5.5、長さ 10mとする。
- ・ 時間超過 本大会においては、投擲者は 60 秒以内に投擲を終えなければならない。
投擲開始時間とは、モルック棒が戻ってきたときから開始 される。これは、投擲位置に置かれる・投擲者を含むチー ムに手渡される、いずれの場合も指す。モルック棒を地面に置く・別の者に手渡すことは投擲時間を一時停止するも のではない。プレイヤーらは自ら対戦相手の投擲時間を測っても構わない。可能であれば、主審判や大会運営者の援助を借りてもよい。プレイヤーが投擲時間を越えた場合、時間の警告が行われる。そのプレイヤーが、同じ試合内で再度投擲時間を越えた場合、投擲資格は失効となる。つまり、そのプレイヤーはそのターンの投擲はできなくなり、投擲ミス(0点)と記録される。
- ・ 37 点ルール
37 点以上のチームが、以下の違反(モルックカーリの踏み越え、プレーヤーによる投擲順の誤り、チームによる投擲順の誤り)をした場合、投擲ミスかつ 50 点オーバーと見なされ、25 点に戻る。

- ・ モルツカーリの踏み越え
 投擲するプレイヤーが投擲エリアに入場してから退場するまでの間に起こる、以下の事例は、「モルツカーリの踏み越え」と判断される。
 - ・ モルツカーリを動かす又は触る(車椅子等に乗ったプレイヤーがモルツカーリを直線にして投擲した後に 角度を戻す場合など、特別な場合は例外とする)。 ※審判がない場合、角度の修正は事前に告知しなければならない。 ※審判がいる場合、モルツカーリの角度修正は審判のみが可能である。
 - ・ モルツカーリの先の地面又はサイドラインを、体のいずれかの部分又は靴で触る。
 - ・ このルール違反を免れるために、投擲するプレイヤーには投擲後にそのまま一歩後ろに下がることが推奨される。 プレイヤーは後ろを向いて投擲エリアを退場してもよい。
- ・ モルツカーリの踏み越えは、投擲ミス(0点)と判断される。



- ・ チーム内での投擲順の誤り
 プレイヤーが自らの順番でないときに投げてしまった場合、投擲ミス(0点)とみなされる。その後の投擲順は、正しいプレイヤーが投擲したかのように継続される。(プレイヤーが2回続けて投げることもある)
- ・ チームによる投擲順の誤り
 チームが自分たちの順番でないときに投げてしまった場合、得られた点数は無効とされ、ペナルティとして、そのチームの次の投擲は見送られ、投擲ミス(0点)とみなされる。投擲順は誰も投げなかったものとして再開される(本来投げるべきだったチームから再開)
- ・ 試合終了後は、各チームの代表者全員で集計スコアを確認し、最高得点のチームがスコアシートを大会本部に持ってくる。

■ 審判員

- ・ 本大会においては、決勝戦において主審判及び副審判を配置する。
- ・ 決勝戦以外の試合においては、審判なし(セルフジャッジ)で試合が行われる。
- ・ それぞれのチームは、ルール遵守の責任を負わなければならない。
- ・ 納得が得られない場合、大会本部スタッフが呼ばれる。
- ・ それ以外については、「JMA モルツの基本ルール」に準拠します。

(注) 当日の天候やスケジュールに応じて、時間制限の短縮等をする可能性があります。その場合

は、当該チームへその旨を連絡します。

(注)コートにあるモルックは練習には使用しないでください。

■ スケジュール

8:00	～	8:50	入場・受付
9:00	～	9:10	開会式
9:30	～	10:05	予選リーグ 第1試合
10:15	～	10:50	予選リーグ 第2試合
11:00	～	11:35	予選リーグ 第3試合
12:35	～	13:20	準々決勝 1st トーナメント 2nd トーナメント
13:30	～	14:30	準決勝
14:40	～		決勝
15:45	～		閉会式

※試合開始の5分前にコートに行き、投擲順を決め、出場メンバーの確認を行う。

※試合の進行状況により、スケジュールが前後することがある。

■ 予選リーグ(36チーム→1st・2ndトーナメント各18チーム) 9:30～11:35 セルフジャッジ制

【試合形式】

- ・ 36チームを4チームごとの9のグループに分けて、グループ内で予選リーグを行う。
 - ・ 各チーム、3試合を行う。(各試合、2チームで試合を行い、1試合につき2セット行う。)
- 1試合の制限時間は35分です
- ・ 投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんで勝ったチームから順に、A,Bのいずれかを選ぶ。
1セット目:A → B 2セット目:B → A
 - ・ 1セット、12ターン制です。いずれかのチームが50点になった時点でセット終了ですが、12ターン目になっても勝負がつかない場合、各チームが12ターン目を投げ終えた時点で、セット終了です。
 - ・ つまり、12ターン内、又は制限時間内に上がれなかった場合は、その時点の得点で終了となります。
 - ・ 試合ごとに終了時間の1分前(試合開始時から34分経過時)にホイッスルを鳴らす。2セット終わっていない場合は、ホイッスルが鳴った時のターンで最後のチームが投げ終わった時点または、いずれかのチームが50点を獲得した時点で試合を終了とする。なお、1セット目が終了しなかった場合は、2セット目は全チーム0得点とする。
 - ・ 1つのグループで2コートを使用し、以下の順序、組合せで試合行う。

予選リーグ対戦表 A～Iグループ

時間	コート1	コート2
[1] 9:30～10:05	①・②	③・④
[2] 10:15～10:50	①・④	②・③

[3] 11:00~11:35	②・④	①・③
-----------------	-----	-----

【順位決定方法】

- 各グループ内の順位を、3 試合 6 セットの合計得点によって決定する。最大 300 点で、各グループの合計得点の多い 1 位、2 位チームが 1st トーナメント、3 位、4 位が 2nd トーナメントに進む。
- 6 セットの合計得点と同じ場合は、50 点で上がったセット数によって順位を決定する。50 点で上がったセット数が多いチームが上位となる。
- 50 点で上がったセット数も同じ場合は、当該チーム間で各チーム 4 投によるモルックアウトにより順位を決定する。4 投の合計得点が多いチームを上位とする。
チームの選手数に関わらず 1 チーム 4 投の投擲とする。モルックアウトのチーム順はじゃんけんを選択 (a→b→b→a→a→b→b→a) し、4 投で同点時は以降決着がつくまで 1 投ずつ延長する。
このモルックアウトは、準々決勝戦進出に関係する順位を決めるときのみ行う。

■ 準々決勝戦(1st、2nd トーナメント 18 チーム→9 チーム) 12:35~13:20 セルフジャッジ制

【試合方式】

- 各試合 2 チームで試合を行い 1 試合につき最大 3 セット行う。
50 点を 2 セット先に獲得したチームが準決勝に進む。
- 投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんでは勝ったチームから順に、A,B,C のいずれかを選ぶ
第 1 セット:A → B 第 2 セット:B → A 第 3 セットは、2 ゲームの合計の高い順とする。
 - 試合ごとに終了時間の 1 分前(試合開始時から 44 分経過時)にホイッスルを鳴らす。試合が終わっていない場合は、ホイッスルが鳴った時のターンで最後のチームが投げ終わった時点または、いずれかのチームが 50 点を獲得した時点で試合を終了とする。ターン制限はありません。

【順位決定方法】

- 50 点を 2 セット先に獲得したチームが準決勝に進む。
- 50 点を 2 セットとったチームがない場合は、50 点 1 セットをとったチーム同士で合計得点が高いチームが上位とする。
- 合計得点及び 50 点で上がったセット数が同じ場合は、当該チーム間で各チーム 4 投ずつによるモルックアウトにより順位を決定する。4 投の合計得点が多いチームを上位とし、チームの選手数に関わらず 1 チーム 4 投の投擲とする。モルックアウトのチーム順はじゃんけんを選択 (a→b→b→a→a→b→b→a) し、4 投で同点時は以降決着がつくまで 1 投ずつ延長する。

このモルックアウトは、準決勝戦進出に関係する順位を決めるときのみ行う。

- 各試合の1位チーム、計9チームが準決勝戦へ進む。

■ 準決勝戦(9チーム→3チーム) 13:30~14:30 セルフジャッジ制

【試合方式】

- 各試合、3チームで試合を行い1試合につき最大4セット行う。
50点を2セット先に獲得したチームが準決勝に進む。
- 投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんで勝ったチームから順に、A,B,Cのいずれかを選ぶ
第1セット:A → B → C 第2セット:C → A → B 第3セット:B → C → A
第4セットは、3ゲームの合計の高い順とする。
- 試合ごとに終了時間の1分前(試合開始時から59分経過時)にホイッスルを鳴らす。試合が終わっていない場合は、ホイッスルが鳴った時のターンで最後のチームが投げ終わった時点または、いずれかのチームが50点を獲得した時点で試合を終了とする。 例:A→B、ホイッスル C 終了
ターン制限はありません。

【順位決定方法】

- 50点を2セット先に獲得したチームが決勝に進む。
- 50点を2セットとったチームがない場合は、50点1セットをとったチーム同士で合計得点が高いチームが上位とする。
- 合計得点及び50点で上がったセット数が同じ場合は、当該チーム間で各チーム4投ずつによるモルックアウトにより順位を決定する。4投の合計得点が多いチームを上位とし、チームの選手数に関わらず1チーム4投の投擲とする。モルックアウトのチーム順はじゃんけんで選択(a→b→b→a→a→b→b→a)し、4投で同点時は以降決着がつくまで1投ずつ延長する。
このモルックアウトは、準決勝戦進出に関係する順位を決めるときのみ行う。

- 各試合の1位チーム、計3チームが決勝戦へ進む。

■ 決勝戦 14:40~ 審判制

【試合方式】

- 3チームで試合を行い1試合につき最大4セット行う。
決勝戦は時間制限と、ターン制限はありません。
- 投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんで勝ったチームから順に、A,B,Cのいずれかを選ぶ
第1セット:A → B → C 第2セット:C → A → B 第3セット:B → C → A
第4セットの投げ順は、3ゲームの合計の高い順とする。

【順位決定方法】

50点を2セット先に獲得したチームが優勝。

残った2チームのうち、獲得セット数→合計得点→モルックアウトの順で順位決定する。

モルックアウト

3 試合の累計などで勝敗を決める際に、同点になった場合に行われます。

- 図のように、手前から[6]、[4]、[12]、[10]、[8]の順にスキttlを並べる。
その際モルック(投げ棒)の長さの間隔にする。
- それぞれのチームメンバーが1回ずつモルックを投げる。
投げられる度にスキttlは元の位置に戻す。
- 点数は通常のモルックと同じように計算します。
(1本倒れたらスキttlの数が点数、数本倒れたら倒れた本数が点数)
- チームの総得点で勝敗を決めます。
- チーム点数が同点になった場合は、1対1でサドンデス勝負をします。
- 4人制の場合: 初投 A チーム、続いて B チーム 2 投、A チーム 2 投、B チーム 2 投、最後の投擲 A チーム。
- 2人チームの場合、3 投目が 1 人目に戻ります。3 人チームの場合、4 投目は 1 人目に戻ります。
4 人チームの場合はそのまま 4 投目は 4 人目が投げます。

